

熊本大学医学部附属病院 血液・膠原病・感染免疫関係 専門修練プログラム

1. プログラムの概要・特徴

血液内科専門医、リウマチ専門医、がん薬物療法専門医、日本がん治療認定医、感染症専門医、HIV および血液内科、膠原病内科研究者の育成および幅広い一般内科医の育成を目的としている。当科および多数の関連病院により、血液内科、膠原病内科のみならず、呼吸器、循環器、消化器をはじめとする幅広い内科研修を行うことができる。そのため、血液内科専門医、リウマチ専門医の育成のみならず、がん薬物療法専門医や幅広い一般内科医も育成することが可能である。また、エイズ研究の第一人者である満屋裕明教授率いる研究グループは世界をリードしており、質の高い研究者を育成している。また、感染免疫診療部を合わせ持つことで感染症専門医の育成も可能である。

2. 研修目標

【一般目標】

後期研修は、2年間の初期研修で修得しえなかった内科一般の知識、技術をさらに深め、内科医としての自分の進む道を見極める時期である。血液内科臨床医、リウマチ臨床医、がん薬物療法専門医、感染症専門医、HIV および血液内科、膠原病内科研究者のほか一般内科医や他の内科専門医への分化も可能で、幅広い内科医を育成することを目標とする。

【行動目標】

血液内科、膠原病内科、新興再興感染症診療及び一般内科の基本理念を体得し、学会への積極的参加、発表を行い、論文作成も積極的に行う。研修後は内科認定医、認定内科専門医、血液内科専門医、リウマチ専門医、がん薬物療法専門医、感染症専門医取得等を目指す。

3. 研修スケジュール

研修期間：8年間

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	大学院				大学病院	留学	
B	大学病院	関連施設	大学院				大学病院	留学
C	大学病院	関連施設		大学院				大学病院
D	大学病院	大学院				大学病院	関連施設	
E	大学病院	関連施設				大学病院	関連施設	
F	関連施設	大学病院	関連施設				大学病院	

上記以外にも当科においては本人の希望に添って自由に研修プログラムを決めることも可能です。

4. 評価

臨床においては内科認定医、認定内科専門医、血液内科専門医、リウマチ専門医、がん薬物療法専門医、感染症専門医を取得する。研究においては論文を作成し医学博士を取得する。

5. 募集人員

10名程度

6. 実施責任者

満屋裕明教授

7. 指導責任者

宮家 宏定 (医局長)

8. 関連施設、学会認定状況

1) 関連施設

熊本中央病院、済生会熊本病院、NTT 西日本九州病院、国立病院機構熊本医療センター、熊本赤十字病院、熊本市市民病院、玉名中央病院、八代総合病院、人吉総合病院、天草地域医療センター、天草中央総合病院、小国公立病院、県立延岡病院、大阪府立呼吸器アレルギー医療センター、京都大学ウイルス研、亀田総合病院、癌研有明病院、国立がんセンター中央病院、国立がんセンター東病院、国立国際医療研究センター、虎ノ門病院分院、東大医科研・血液腫瘍内科、東京都がん検診センター、
海外留学：米国 NCI 3 名、ダナ・ファーマー癌研究所 1 名、ブリガムウィミンズ病院・病理学 1 名、カリフォルニア大学サンフランシスコ校 1 名

2) 学会認定状況

日本血液学会認定血液研修施設：熊本大学医学部附属病院、国立病院機構熊本医療センター、
NTT 西日本九州病院、熊本市立熊本市市民病院、済生会熊本病院、
荒尾市民病院

日本リウマチ学会認定研修施設：熊本大学医学部附属病院、熊本市立熊本市市民病院、熊本赤十字病院

日本臨床腫瘍学会：熊本大学医学部附属病院、国立病院機構熊本医療センター、熊本市立熊本市市民病院、熊本赤十字病院、済生会熊本病院

9. その他

日本血液学会認定血液専門医：麻生 範雄、川口 辰哉、堀川 健太郎、奥野 豊、星乃 光有、立津 央、
野坂 生郷、釘宮 倫子

日本内科学会総合内科専門医：川口 辰哉、堀川 健太郎、星乃 光有、立津 央

感染症専門医：宮川 寿一

10. 連絡先

〒860-8556 熊本市本荘 1 丁目 1 番 1 号

熊本大学医学部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

宮家 宏定 (医局長)

E-mail:nikyo@gpo.kumamoto-u.ac.jp

Tel:096-373-5156 / Fax:096-363-5265

ホームページ：<http://www2.kuh.kumamoto-u.ac.jp/ketsueki/default.html>

医局紹介ビデオ：<http://www.doctor-info.net/medical/mitsuya/>